



チケット普及で、諸団体に協力を要請 「ポスターはって雰囲気を」、「早めの普及がカギ」 祭典成功へ、激励の声次々



「日本のうたごえ祭典 in 長崎」実行委員会は、20日と22日、長崎市と諫早、大村市の諸団体に10月の祭典成功にむけた宣伝やチケット普及への協力を要請する訪問活動を行い懇談しました。

田中實運営委員長を先頭に、3組で手分けして約20団体を訪問。祭典ポスターの掲示や10月16日のアリーナ大音楽会チケット（全自由席3000円・小中高生、障がい者1000円）の普及協力をお願いするとともに、被爆65周年記念祭典の意義や、他の音楽会には見られない企画内容の特徴を説明しました。

多くの団体で、早くチケットを預かっていただき、「もっとたくさんのポスターをはって雰囲気の盛り上げを」とか、「10月は行事も多いので早めの普及と、多くの人にチケットを持ってもらうことがカギですね」などの助言もいただきました。先行販売している「ブリック音楽会」チケット（10月15日＝全席指定）を、その場で予約購入する団体もありました。協力をお願いする訪問活動は、これからも続けられます。

多くの団体で、早くチケットを預かっていただき、「もっとたくさんのポスターをはって雰囲気の盛り上げを」とか、「10月は行事も多いので早めの普及と、多くの人にチケットを持ってもらうことがカギですね」などの助言もいただきました。先行販売している「ブリック音楽会」チケット（10月15日＝全席指定）を、その場で予約購入する団体もありました。協力をお願いする訪問活動は、これからも続けられます。

第12回運営委員会 宣伝とチケット普及に全力

23日、実行委員会事務所で第12回運営委員会が開かれました。

会議では、これからの中心的な取り組みとなるチケット普及問題や舞台・企画問題、県の合唱交流会（9月5日）の取り組みが討論されました。

「行きつけの美容院にもポスターを頼み、チケットを預けている」「知り合いの喫茶店などにポスター掲示をたのみ、チケットを預かってもらおう」と、積極的意見がだされました。

今年の県の合唱交流会（日本のうたごえ祭典、in 長崎の合唱発表会への推薦団体選出を兼ねる）には、過去最高となる16団体の参加申し込みがあつていることが報告されました。

今週の主な予定

- 27日（火） 干潟・練習会 13時ガスホール
- 28日（水） 山里小練習会 10時
同校原爆資料室
- 29日（木） ・企画PJ会議
・G/J加藤先生レッスン
6時半・生き生き広場
- 30日（金） ・一本のペン練習会 14時・生き生き
・第8回実行委員会
長崎図書館メモリアル
- 31日（土）

九州は一つ 期待に応える地元の取り組みを 九州合同・合唱講習会

10月の日本のうたごえ祭典を前にして、同長崎祭典で演奏される合唱曲（グレート・ジャーニーや男性合唱、女性合同、祭典記念普及曲「一本のペンで」など）の九州合同合唱講習会が24、25日の両日、熊本県・阿蘇で開かれました。（長崎から26人が参加）「干潟の海の詩」の特別練習も行われました。（写真）

特別講師として参加された、加藤豊先生の「グレート・ジャーニー」のユーモアあふれる指導に、参加者は大満足。祭典成功へ気持ちを一つにとの思いがみなぎった講習会となりました。「合唱作品が出来上がってきていると実感した」「チケットも胸をはって訴えられる」との感想が多く出されていました。

交流会では、長崎祭典の記念Tシャツをそろって身に付けた鹿児島県の参加者のうたごえなど、「九州はひとつ」の思いが溢れていました。長崎からは「地元のがんばりで、全国の励ましに応えよう」と「ながせん・白波3人男」を披露。田中和史実行委員会事務局長が取り組みの現状を報告しました。



あなたはプログラムのどこに注目？

池辺さん指揮の大合唱！豪華ゲストも楽しみ

10月15日(金) 午後6時15分開場・6時45分開演 長崎ブリックホールプログラム(順不同)

音楽会「平和への想いつなぐ 心/叫び/歌」



有明海紹介 DVD より

歓迎演奏・長崎らしさがいっぱい

- ◆ ♪幻想曲 長崎ぶらぶら 指揮/中澤伸元 ピアノ/村川千佳
- ◆ 踊り「樺島ハイヤ節」 「樺島ハイヤ節」保存会
- ◆ フォルクローレ グループ/スマンドス
- ◆ 長崎祭典記念合唱
組曲「干潟の海の詩」より
♪諫早の海 ♪漁唄 ♪海に抗(あらが)う者よ
♪旅鳥の歌 ♪平和の歌、世界に
作曲/園田鉄美 作詞/池田アヤ子、園田鉄美

豪華ゲストを迎え、ともに平和の声を発信しましょう

- ◆ オペラ歌手・星野 恵利 (ソプラノ) さんほか オペラ「蝶々夫人」より
- ◆ 民族楽器・バンドゥーラを奏でる
ウクライナの歌姫 Nataliya Gudziy (ナターシャ・グジー)さん

大合唱の魅力を満喫しましょう

- ▼ 150人の男声合唱(全国男声合唱団)
♪うた/春を夢見た労働者に捧げる歌 指揮/高田龍次
♪共に行こう我らこの道を(ハングル入り) 指揮/碓勝房
(友情出演 韓国・仁川「平和の風」合唱団)
- ▼ 250人の混成合唱(日本のうたごえ合唱団)
♪Lacrimosa(ラクリモーサ) 「Requiem」より
♪灯籠ながし 「永久のみどり」より ほか
指揮/守屋博之 ピアノ/門 万沙子

池辺晋一郎さんの指揮で、300人が歌います

Great Journey 心/叫び/歌 3つの混成合唱曲

- ♪アメイジング・グレイス(ソリスト・星野恵利)
- ♪ディープ・リヴァー
- ♪リパブリック讃歌

フィナーレ 高校生一万人署名活動からうまれた ♪一本のペンで



蝶々夫人を歌う星野さん

G/J 練習風景



「グレート・ジャーニー」に寄せる想い

壮大な人類の歩みと、
核兵器廃絶

人類は四百万年前、東アフリカに誕生したといわれます。百数十万年前、アフリカからユーラシア大陸に渡り、極北の地をへて、ついに南アメリカ大陸最南端のパタゴニアに到達しました。

この偉大な旅を、イギリスの考古学者フライアン・M・フレイガンは「Great Journey(グレート・ジャーニー)」と名付けました。コロンブスがアメリカ大陸を発見するはるか昔のことです。探検家の関野吉晴氏は、「本来、熱帯性動物であった『ヒト』がアフリカを旅立ち、アジアへ、アメリカへと、広大な無人の大陸を進んでいった。これは人類が体験した最大の冒険だ」といいます。その関野氏が一九九三年、人類の足跡を逆回りでたどる旅を敢行しました。南米パタゴニアから、アメリカ大陸を北上、ベering海峡、ユーラシア大陸を横切り、人類誕生の地である東アフリカに至ったのです。五万三千年。十年にわたる大遠征でした。

その地球上で、もし核戦争がおれば、この四百万年に及ぶ人類の歴史はすべて壊滅します。何としても核兵器を廃絶しなければ。作詞家・山の本竹志氏は、そんな想いでこの「グレート・ジャーニー」の詩を書いたに違いない。私はそう信じています。

この壮大なロマンを感じながら、池辺先生指揮の大合唱を多くの市民に楽しんでもらいたいと思います。
(合唱団ながせん・松下 進)

「長崎祭典」の舞台
ここが魅力